

大海に乗り出す

残り僅かになって思うことは？

2学期、お疲れさまでした！多くの人にとて、これまでにないほど努力した学期だったことでしょう。さて、先に目を向けると、高校生活の残りは1月の16日間と、2月の卒業式関係の3日間のみとなりました。こうして終わりが近づいてくると、掃除の時間や昼休みの雑談、登校の足音など、そうしたありふれた場面が、急にかけがえのない時間に思えてきます。教室に差し込む冬の光や黒板に残るチョークの粉が、なぜかいつもより鮮明に見えるのは、ここで過ごした日々を少しでも心に留めておきたいと思うからかもしれません。

みんなが作った「卒業カウントダウン」の数字が日々減っていくのを見ながら、このクラスと過ごせる時間の少なさをあらためて実感していました。後になってどれほど強く願っても、家島高校で過ごす時間は二度と戻りません。だから朝起きて、しんどいな、寒いなと感じて行く気がしなくて、とにかく登校するべきです！

残りの日々は確かに短いです。でも、だからこそ一つひとつが特別な時間に変わりますよ。2学期の間ずっと伝えてきた「最後の一伸び」ができるように、「みんなで」最後の学校生活を積み重ねていけたらと思います。



同じ時間を共有すること

私は年末年始が、一年で一番好きかもしれません。普段はなかなか会えない友人と久しぶりに会ったり、気合いを入れた料理を作り、昼間からお酒を飲んだり。時計を気にせず「年末年始やからいいか」と贅沢に時間が使えるのは最高ですね。世の中全体が休むぞー！という空気感に包まれていく気がします。

そしてもう一つ、この時期ならではなのが、「家族とゆっくり過ごせる」ことです。特別なことをするわけではなく、同じテレビを眺めたり、何でもない話をしたり、ただ同じ空間にいるだけ。それでも、こうした時間は大人になるほど、意外なほど減っていきます。

振り返ってみると、家族と過ごした記憶というのは、「何をしたか」だけでなく、「どんな空気だったか」で残っていることが多いように思います。笑ったことや、たわいもない会話、なんとなく安心できた感じ。そういう感覚が、後になって振り返ると、心にじわっと染み入るのです。年末年始は、何かを頑張る時間ではなくて大丈夫です。ゆっくり過ごすこと自体が、十分に意味のある時間です。みなさんも、この機会に、家族と同じ時間を少しだけ長く過ごしてみてください。

気まぐれなプレゼント

先日、42回生のエンブレムをデザインして、キーホルダーにしてもらいました。Canvaで作った拙いデザインではありますが、「今のこのクラスで過ごした証になるものを、形に残したい」と思ったのがきっかけです。

正直に言うと、渡すまでは喜んでもらえるかどうかめちゃめちゃ不安でした。でも実際は渡したときに、みんながその場ですぐにカバンに付けてくれたり、「かっこいい」、「嬉しい」と声を上げてくれたりして、作ってよかったと心から思いました。

どうしてもこの時期の学年通信は、卒業がテーマの似た内容の記事ばかりになってしまします。しかし、それだけみんなにも卒業を意識して欲しいのです。この小さなキーホルダーは、「このクラスで過ごした証」として残ります。何年か後に自室の掃除をしている時にこれを見つけて、高校時代の出来事を思い出す、そんなシーンを想像しています。

チーム42回生、最後まで一緒にがんばろう！！



背理法的証明

今日はクリスマスイブ。みなさん、一度は考えたことはありませんか？「サンタクロースはどうやって一晩で世界中の家を回っているのか」と。ある天文学者がサンタの移動速度を真面目に試算した結果、サンタは時速820万kmもの速度で移動している可能性があるそうです。

時速820万km。秒速にすると約2,300km。マッハ6000以上。この速度で大気中を移動した場合、どのような影響が出るのか調べてみました。この速さでは空気が前に逃げられず激しく圧縮され、超強力な衝撃波が発生します。音速を超えたときに発生するソニックブームなど比較にならないほどの衝撃によって、進路一帯に甚大な被害が生じます。さらに、空気との摩擦で表面温度は数万度以上になり、サンタもトナカイも激しく発光しながら、文字通り流星のごとく移動することになるそうです。そんな物体が煙突に「コツン」とでも触れようものなら…

数学や物理で冷静に考えれば考えるほど、この方法で運ぶのは無理だという結論にたどり着きます。それなのに、毎年12月25日の朝、世界はちゃんと無事で、プレゼントも届いている。街が壊れたというニュースも聞きません。すなわち、そこから導き出される結論は一つ。

「サンタは、魔法が使える。」

二十四節気と七十二候

冬至（とうじ）
12/22～1/4



乃東生（なつかれくさ
しょうず）
12/22～12/25

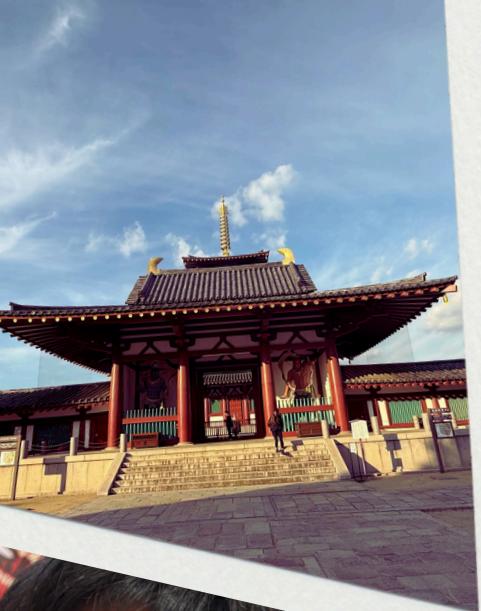


鹿角解（さわしかつの
おつる）
12/26～12/30



雪下出麦（ゆきくだり
てむぎのびる）
12/31～1/4





Field
Trip in
Osaka

